

**三条市子ども・若者総合サポートシステム**  
**平成 26 年度活動実績・平成 27 年度活動計画**  
**【障がい支援部会】**

《平成 26 年度活動実績》

1 障がい支援部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握件数（平成 27 年 3 月末現在）

区分	障がい
人数（人）	606（義務教育期間：378 就学前：228）

（再掲）「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

区分	障がい
人数（人）	63

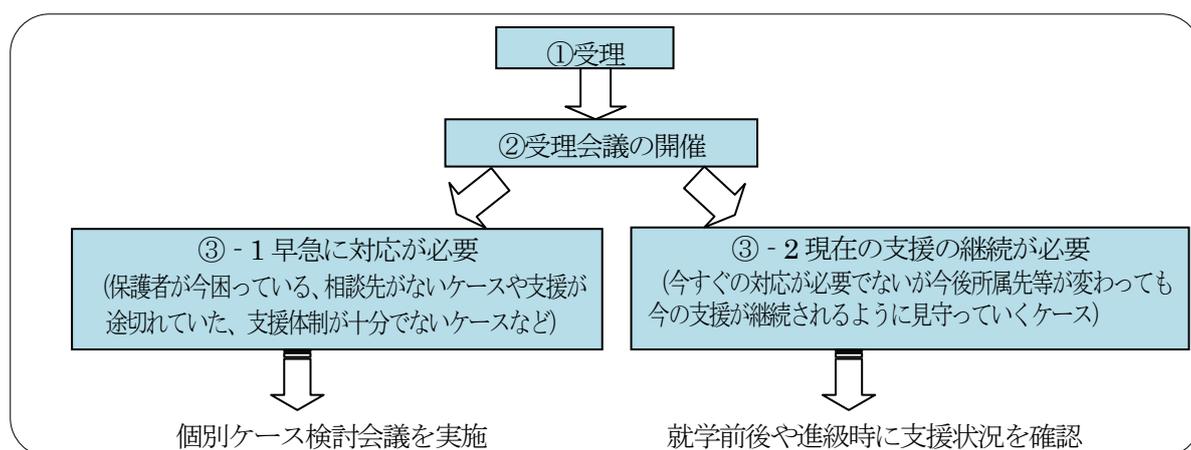
（参考 1）平成 27 年度特別支援学級に在籍する児童生徒数ならびに学級数

学級種別	区分	市内小学校		市内中学校		計	
		学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数
知的障害学級		17	71	10	42	27	113
自閉・情緒障害学級		22	98	10	46	32	144
その他（肢体不自由・病虚弱）		2	4	1	2	3	6
合計		41	173	21	90	62	263

（参考 2）平成 26 年度通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒数

問題項目	区分	市内小学校		市内中学校		計		国の平均
		人	%	人	%	人	%	
学習面か行動面で著しい困難を示す		423	8.7	99	3.6	522	6.8	6.5
学習面で著しい困難を示す		252	5.2	60	2.2	312	4.1	4.5
行動面で著しい困難を示す		287	5.9	72	2.6	359	4.7	3.6
学習面と行動面ともに著しい困難を示す		116	2.4	33	1.2	149	1.9	1.6

(2) 「個人情報の取扱いに関する同意書」受理後の対応



※同意が無い「障がい」把握者への支援

乳幼児の場合 → 保健師、保育所（園）、幼稚園の保育士等の支援

小中学生の場合 → 学校での通常支援及び、通級指導教室（三条小学校・長沢小学校）や市が委嘱した特別支援学校職員による専門指導員の巡回支援等

2 障がい支援部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
実務者会議	第1回	9月26日	三条市役所 栄 庁 舎	障がいがある子どもの保護者支援について ・小中学校、高等学校等他の支援機関の保護者支援のあり方について ・保育園で行う保護者支援について	14機関

3 研修会・講演会

会議名	月 日	場 所	内 容 等	参加人数
発達応援セミナー (発達応援講演会)	8月8日	三条市体育文化センター	演 題：「幸せな人生は人の役に立つこと」 ～知的障がい者に導かれた企業経営から～ 講 師：日本理化学工業株式会社 取締役会長 大山 泰弘 氏 対象者：小中学校教職員	210人
専 門 研 修 会	11月25日	栄庁舎	情報提供：「中学校における進路指導の現状と課題」 シンポジウム：「全日制高等学校以外に進学した子どもの教育・支援の実態について」 ～校種・教育課程の異なる3校の発表～ 対象者：小中学校教職員、保育園（所）・幼稚園職員、支援機関職員等	42人

#### 4 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<p><b>【実務者会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育現場や教育現場で実際に抱える事例を話題としたことにより、各関係機関で行える具体的、実効的な支援策を共有することができた。</li> </ul> <p><b>【専門研修会・発達応援講演会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修会では、義務教育卒業後の発達障がいがある子どもの姿を特別支援学校高等部、定時制高校の職員から学ぶことにより、就労に至るまでの課題、義務教育終了後の支援について、関係機関が把握することでき、小中学校職員の進路指導の参考となった。</li> <li>・専門研修会や発達応援講演会等では、内容がいずれも義務教育卒業後の発達障がい児の実態につながるものであり、今後の支援に参考になるものであった。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初、義務教育対象の登録児童の所属機関に対し、文書による登録児童の継続支援の依頼を行った。進級や就学等の所属機関が変更になっても、引き続き支援の継続が図られた。</li> </ul> <p>また、特別支援学校に出向き、モニタリングを実施し、担当者と登録児童の情報交換を有意義に行うことができた。</p>	<p><b>【実務者会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育終了後の進学に対する進路指導、就労までの関係機関の支援の方法などを保護者、小中学校教職員に周知していく必要がある。</li> </ul> <p><b>【専門研修会・発達応援講演会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択、就労に際して保護者、本人の障害受容、特性理解、自己理解が大切となる。そのため、本人、保護者へ支援の方法を学校現場、関係機関が連携し、検討していく必要がある。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度以降、小学1年生すべてが、すまいるファイルを持っていることから、すまいるファイルのさらなる活用を考える必要がある。</li> </ul>

## 《平成 27 年度活動計画》

### 1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第 1 回	9 月	三条市役所 栄庁舎	発達障がい支援体制について（仮）
	第 2 回	1 月	三条市役所 栄庁舎	第 1 回で出された問題及び課題について検討
個別ケース 検討会議	随時	支援体制の検討が必要なケースについて関係者で検討を行う。		

### 2 周知活動

#### (1) 市民に対する周知

ア 早期療育事業等の利用児をはじめとする小学校就学前の子どもの保護者に対し、子ども・若者総合サポートシステム及びすまいるファイルについて周知

イ 早期療育事業利用者や加配対象児の保護者へすまいるファイル「支援の記録」の活用の周知

#### (2) 関係機関に対する周知

ア 保育所や関係機関の実務者に対し、支援が必要な子どもに関するすまいるファイルの活用について周知ならびに登録者の情報提供

イ 小中学校の特別支援コーディネーター等を対象に、子ども・若者総合サポートシステムの運用及びすまいるファイル活用について周知

### 3 研修会・講演会

題名		月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
発達 支援セ ミナ ー	第 1 回	8 月 3 日	リサーチコア	演 題：発達障がいのある人たちの就職（仮） 講 師：丸山高志 氏 (NPO 法人 にいがた・オーティズム理事 ワーキングサポートセンター「スタンバイ」 プロジェクトマネージャー) 対象者：小中学校教職員	300 人
	第 2 回	未定	総合福祉 センター	演 題：未定 講 師：未定 対象者：市民	150 人
専門研修会		未定	未定	就学後の障がい児支援に関するテーマ 対象者：実務者等	50 人